

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

新潟県 阿賀町

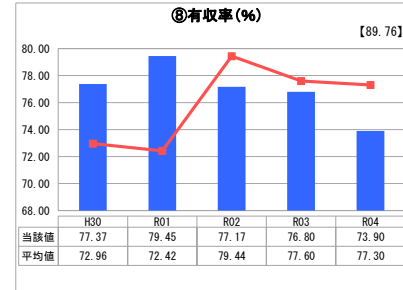
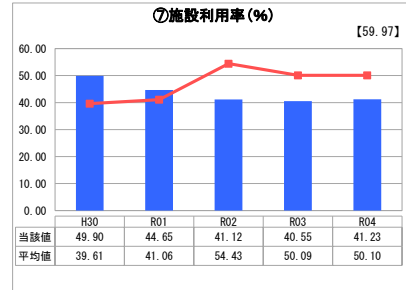
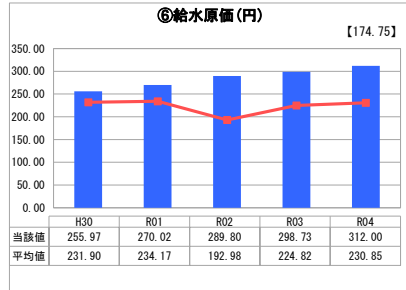
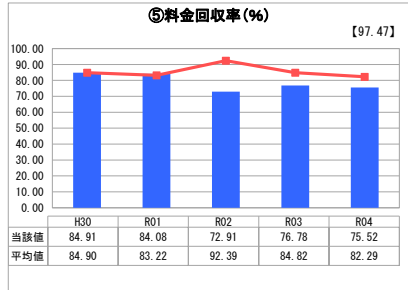
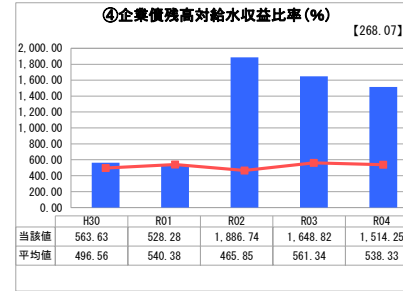
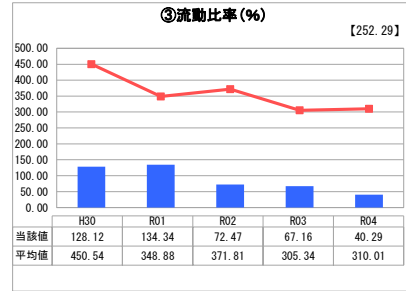
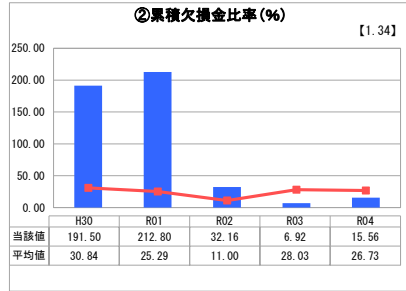
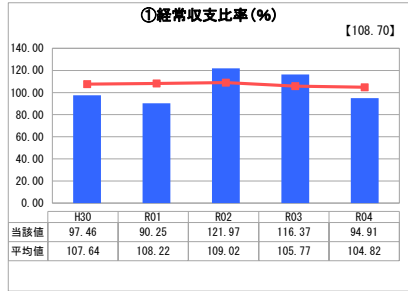
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	34.13	98.92	4,939	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,779	952.89	10.26
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,521	29.73	320.25

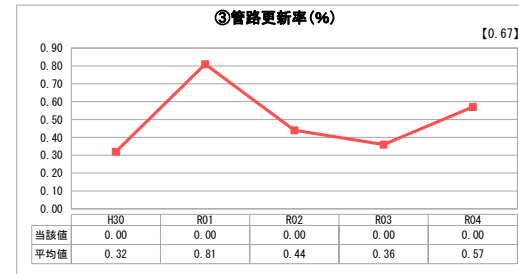
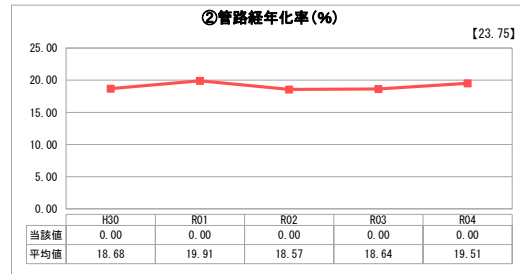
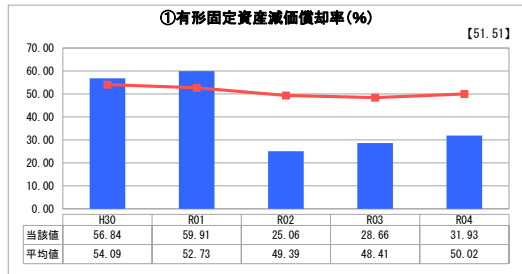
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①② 令和2・3年度は、高料金対策に要する経費について、総務省の基準に満たしたことが要因で、経常収支比率は100%を超え、累積欠損金比率についても減少した。しかし、令和4年度については非該当になったことが大きな要因として経常収支比率は減少、累積欠損金比率は増加となっている。

③ 流動比率は、年々減少しており、類似団体平均、全国平均との差は大きい。

④ 令和2年度は旧簡易水道事業を統合したことにより増であり、類似団体平均、全国平均との差は大きい。

⑤⑥ 類似団体平均、全国平均との差は大きく、高い費用が発生していることがわかる。

⑦⑧ ほぼ横ばいではあるが、類似団体平均、全国平均を下回る数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

①②③ 令和2年度に旧簡易水道事業を統合したことにより減少したが、年々増加している。管路経年化率、管路更新率については、法定耐用年数を経過した管路がないため0となっている。

## 全体総括

平成29年6月から令和3年6月まで3回にわたり料金改定を行ったが、人口減少(年間約3%)に歯止めがかけられない状況であり、料金収入の増収は見込めない。令和2年度に旧簡易水道事業を統合したことにより、施設維持管理費・企業債償還も大きな負担となっている。今後も2~3年ごとに料金改定を行い、適切な事業規模への改善、事業費の平準化を進めていく必要がある。